

---

## H31 愛知県(A) 公立 数学 問題

---

数-19-公-愛知(A)-問-01

**1** 次の問 1 から問 9 に答えなさい。

問 1  $8-(2-5)$  を計算しなさい。

問 2  $\frac{5x+3}{3}-\frac{3x+2}{2}$  を計算しなさい。

問 3  $\sqrt{3}(\sqrt{5}-3)+\sqrt{27}$  を計算しなさい。

問 4  $12x^2y \times (-3y)^2 \div (2xy)^2$  を計算しなさい。

問 5 方程式  $(x+3)(x-8)+4(x+5)=0$  を解きなさい。

問 6  $x$  cm のリボンから 15 cm のリボンを  $a$  本切り取ることができるという数量の関係を、不等式に表しなさい。

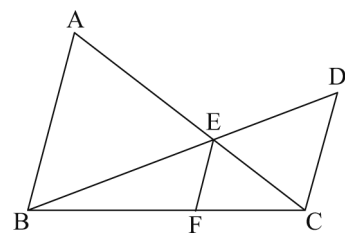
問 7 関数  $y=\frac{1}{2}x^2$  について、 $x$  の値が 4 から 6 まで増加するときの変化の割合を求めなさい。

問 8 ある中学校の 1 年生 120 人の 50 m 走の記録を調べ、7.4 秒以上 7.8 秒未満の階級の相対度数を求めたところ 0.15 であった。

7.4 秒以上 7.8 秒未満の人数は何人か、求めなさい。

- 問9 図で、 $\triangle ABC$  の辺  $AB$  と  $\triangle DBC$  の辺  $DC$  は平行である。また、 $E$  は辺  $AC$  と  $DB$  との交点、 $F$  は辺  $BC$  上の点で、 $AB \parallel EF$  である。

$AB=6\text{ cm}$ 、 $DC=4\text{ cm}$  のとき、線分  $EF$  の長さは何  $\text{cm}$  か、求めなさい。



数-19-公-愛知(A)-問-02

- 2 次の問1から問4に答えなさい。

- 問1 次のように、自然数を一定の規則にしたがい1段目と2段目にそれぞれ並べた。このとき、ア，イ にあてはまる自然数を求めなさい。

1 段目	3	5	7	9	11	...	<span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">ア</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">イ</span>	...
2 段目		15	35	63	99	...	899		...

- 問2 図で、四角形  $ABCD$  は正方形であり、 $E$  は対角線  $AC$  上の点で、 $AE > EC$  である。また、 $F$ 、 $G$  は四角形  $DEFG$  が正方形となる点である。

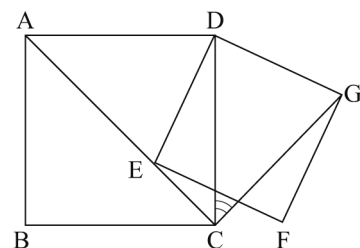
ただし、辺  $EF$  と  $DC$  は交わるものとする。

このとき、 $\angle DCG$  の大きさを次のように求めた。

  ，   にあてはまる数を書きなさい。また、

(    a    ) にあてはまることばを書きなさい。

なお、2 か所の    には、同じ数があてはまる。



$\triangle AED$  と  $\triangle CGD$  で、

四角形  $ABCD$  は正方形だから、 $AD=CD$

・・・①

四角形  $DEFG$  は正方形だから、 $ED=GD$

・・・②

また、

$\angle ADE = \text{   }^\circ - \angle EDC$ ， $\angle CDG = \text{   }^\circ - \angle EDC$  より、

$\angle ADE = \angle CDG$

・・・③

①，②，③から、(    a    ) が、それぞれ等しいので、

$\triangle AED \equiv \triangle CGD$

合同な図形では、対応する角は、それぞれ等しいので、

$\angle DAE = \angle DCG$

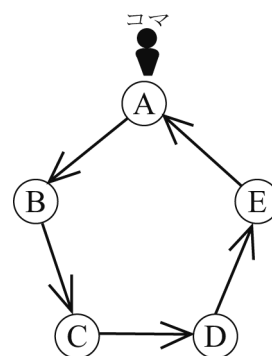
したがって、

$\angle DCG = \text{   }^\circ$

問3 図のAの位置にコマを置き、大小2つのさいころを投げて、出た目の数の積だけ、矢印の方向にコマを進める。

このとき、最も起こりやすいことがらは次のアからオまでのうちのどれか、そのかな符号を書きなさい。また、そのときの確率を求めなさい。

ア Aで止まる      イ Bで止まる      ウ Cで止まる  
エ Dで止まる      オ Eで止まる



問4 ある電話会社には、1か月の電話使用料金について、次のようなX, Y, Zの3種類の料金プランがある。

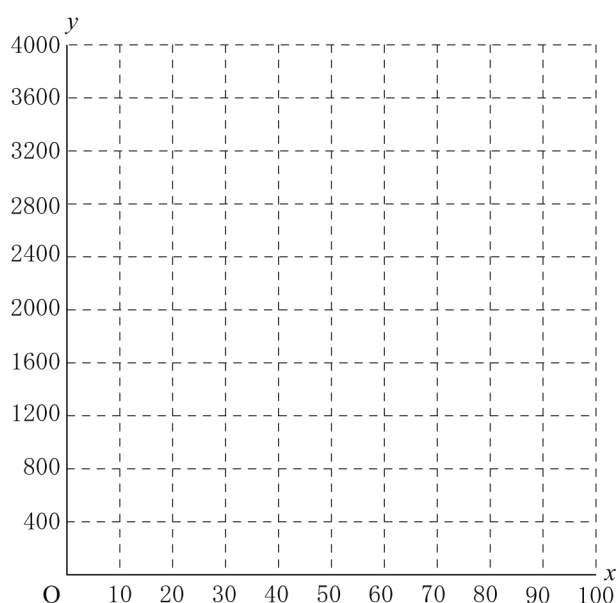
ただし、XプランとYプランの1か月の電話使用料金は基本料金と通話料金の合計金額である。

X プラン	Y プラン	Z プラン
基本料金 (1 か月) 1200 円	基本料金 (1 か月) 2000 円	どれだけ通話しても 2800 円
30 分までは通話料金 0 円	60 分までは通話料金 0 円	
30 分を超えた分の 1 分間あたりの通話料金 40 円	60 分を超えた分の 1 分間あたりの通話料金 40 円	

このとき、次の(1), (2)の問いに答えなさい。

(1) Xプランで1か月に $x$ 分間通話したときの電話使用料金を $y$ 円とする。 $0 \leq x \leq 100$ における $x$ と $y$ の関係を、グラフに表しなさい。

(2) Aさんは、「私にとっては3種類の料金プランのうち、Yプランであると電話使用料金が最も安くなります。」と話している。Aさんの1か月の通話時間は何分から何分までの間か、答えなさい。

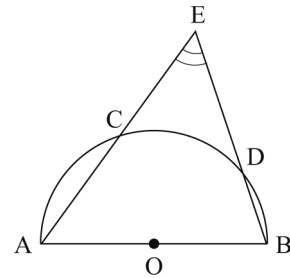


**3** 次の問 1 から問 3 に答えなさい。

ただし、円周率は $\pi$ とする。また、答えは根号をつけたままでよい。

**問 1** 図で、 $C, D$  は  $AB$  を直径とする半円  $O$  の周上の点であり、 $E$  は直線  $AC$  と  $BD$  との交点である。

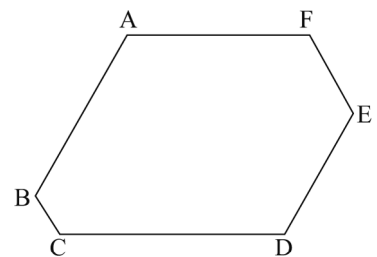
半円  $O$  の半径が  $5\text{ cm}$ 、弧  $CD$  の長さが  $2\pi\text{ cm}$  のとき、 $\angle CED$  の大きさは何度か、求めなさい。



**問 2** 図で、六角形  $ABCDEF$  は内角の大きさがすべて等しい。

$AB=AF=4\text{ cm}$ 、 $ED=3\text{ cm}$ 、 $FE=2\text{ cm}$  のとき、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 辺  $CD$  の長さは何  $\text{cm}$  か、求めなさい。

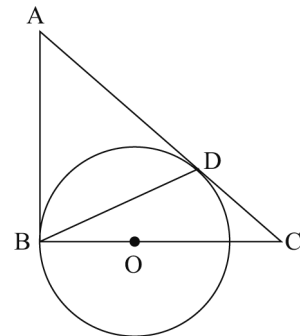


(2) 六角形  $ABCDEF$  の面積は何  $\text{cm}^2$  か、求めなさい。

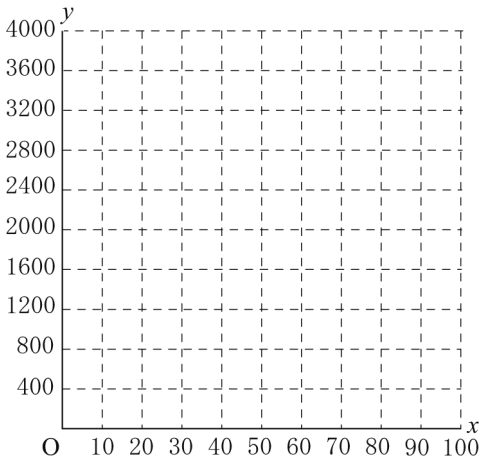
**問 3** 図で、円  $O$  は中心が  $\triangle ABC$  の辺  $BC$  上にあり、直線  $AB$ 、 $AC$  とそれぞれ点  $B, D$  で接している。

$AB=2\text{ cm}$ 、 $AC=3\text{ cm}$  のとき、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 円  $O$  の面積は何  $\text{cm}^2$  か、求めなさい。

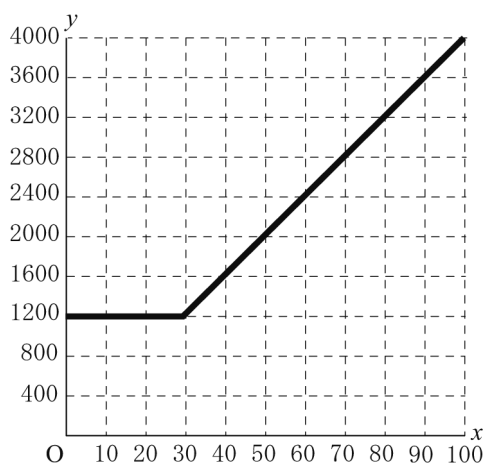


(2)  $\triangle DBC$  を辺  $BC$  を回転の軸として 1 回転させてできる立体の体積は、円  $O$  を辺  $BC$  を回転の軸として 1 回転させてできる立体の体積の何倍か、求めなさい。

問題番号		解 答		配点	備 考		
数・公・愛知(A)・201	1	問 1					
		問 2					
		問 3					
		問 4					
		問 5	$x =$				
		問 6					
		問 7					
		問 8	人				
		問 9	cm				
数・公・愛知(A)・202	2	問 1	ア( ), イ( )				
		問 2	( ), a( ), II( )				
		問 3	かな符号( ), 確率( )				
		問 4	(1)				
			(2)	( )分から( )分までの間			

	問題番号		解 答		配点	備 考
数 学 公 愛 知 (A) 2003	3	問 1	度			
		問 2	(1)	cm		
			(2)	cm <sup>2</sup>		
		問 3	(1)	cm <sup>2</sup>		
			(2)	倍		

	問題番号	解	答	配点	備 考
数1φ公愛知(A)・K01	1	問1	11	1	
		問2	$\frac{1}{6}x$	1	
		問3	$\sqrt{15}$	1	
		問4	$27y$	1	
		問5	$x = \frac{1 \pm \sqrt{17}}{2}$	1	
		問6	$x \geq 15a$	1	
		問7	5	1	
		問8	18 人	1	
		問9	$\frac{12}{5}$ cm	1	
数1φ公愛知(A)・K02	2	問1	ア( 29 ), イ( 31 )	1	
		問2	( 90 ), a( 2組の辺とその間の角 ), II( 45 )	2	
		問3	かな符号( ア ), 確率( $\frac{11}{36}$ )	2	
		問4	(1)	1	
			(2)		



	問題番号		解 答		配点	備 考
数 学 公 愛 知 ( 公 立 ) 高 校	3	問 1	54 度		1	
		問 2	(1)	5 cm	1	
			(2)	$\frac{55\sqrt{3}}{4} \text{ cm}^2$	1	
		問 3	(1)	$\frac{4}{5}\pi \text{ cm}^2$	1	
			(2)	$\frac{25}{72}$ 倍	1	



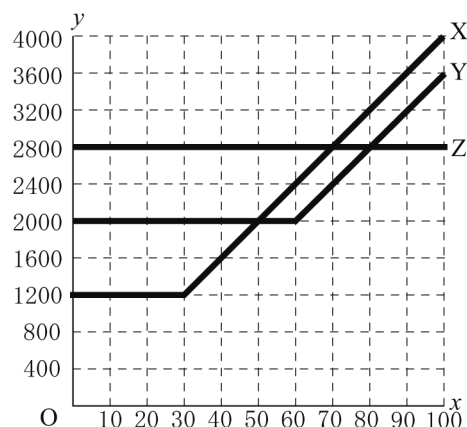
数-19-公-愛知(A)-KS-01

- 1 問1  $8 - (2 - 5) = 8 - (-3) = 8 + 3 = 11$
- 問2  $\frac{5x+3}{3} - \frac{3x+2}{2} = \frac{5}{3}x + 1 - \left(\frac{3}{2}x + 1\right) = \frac{5}{3}x + 1 - \frac{3}{2}x - 1 = \frac{5}{3}x - \frac{3}{2}x = \frac{10}{6}x - \frac{9}{6}x = \frac{1}{6}x$
- 問3  $\sqrt{3}(\sqrt{5}-3) + \sqrt{27} = \sqrt{15} - 3\sqrt{3} + 3\sqrt{3} = \sqrt{15}$
- 問4  $12x^2y \times (-3y)^2 \div (2xy)^2 = 12x^2y \times 9y^2 \div 4x^2y^2 = \frac{12x^2y \times 9y^2}{4x^2y^2} = 27y$
- 問5  $(x+3)(x-8) + 4(x+5) = 0$  を整理すると,  $x^2 - 5x - 24 + 4x + 20 = 0$   $x^2 - x - 4 = 0$   
二次方程式の解の公式より,  $x = \frac{-(-1) \pm \sqrt{(-1)^2 - 4 \times 1 \times (-4)}}{2 \times 1} = \frac{1 \pm \sqrt{17}}{2}$
- 問6 15cm のリボン  $a$  本分の長さは  $15acm$  だから  $x \geq 15a$
- 問7  $x=4$  のとき  $y = \frac{1}{2} \times 4^2 = 8$ ,  $x=6$  のとき  $y = \frac{1}{2} \times 6^2 = 18$  だから, 変化の割合は,  $\frac{18-8}{6-4} = 5$
- 問8 7.4 秒以上 7.8 秒未満の人数を  $x$  人とする,  $x \div 120 = 0.15$  より,  $x = 120 \times 0.15 = 18$ (人)
- 問9  $\triangle ABE$  と  $\triangle CDE$  において,  $AB \parallel DC$  より, 平行線の錯角は等しいので,  $\angle ABE = \angle CDE$ ,  
 $\angle BAE = \angle DCE$  だから, 2 組の角がそれぞれ等しいので,  $\triangle ABE \sim \triangle CDE$   
よって,  $AE : CE = AB : CD = 6 : 4 = 3 : 2$   
 $AB \parallel EF$  だから, 三角形と比の定理より,  $CE : CA = EF : AB$   $2 : 5 = EF : 6$   $EF = \frac{12}{5}$ (cm)

数-19-公-愛知(A)-KS-02

- 2 問1 1 段目の数は右に 1 つ進むごとに 2 ずつ増えており, はじめの数が 3 であることから, 1 段目の数はすべて奇数である。また, 2 段目の数は 1 段目の隣り合う 2 数の積である。  
ここで, アにあてはまる数を  $x-1$  とすると, イにあてはまる数は  $x+1$  となり, 2 数の積が 899 となることから,  $(x-1)(x+1) = 899$  が成り立つ。  
整理すると  $x^2 - 1 = 899$   $x^2 = 900$   $x = \pm 30$   $x$  は 4 以上の自然数だから,  $x = 30$   
よって, アにあてはまる数は  $30 - 1 = 29$ , イにあてはまる数は  $30 + 1 = 31$  で, ともに奇数だから問題にあう。
- 問2  $\triangle AED$  と  $\triangle CGD$  で, 正方形の定義より,  $AD = CD$ ,  $ED = GD$  がいえるので, あとは  $AE = CG$  か  $\angle ADE = \angle CDG$  のどちらかがいえればよい。この場合,  $\angle ADE$  と  $\angle CDG$  はどちらも  $90^\circ - \angle EDC$  で表される角だから,  $\angle ADE = \angle CDG$  がいえる。よって, 合同条件「2 組の辺とその間の角が, それぞれ等しい」がいえるので,  $\triangle AED \cong \triangle CGD$   
合同な図形では, 対応する角は, それぞれ等しいので,  $\angle DAE = \angle DCG$   
 $\triangle ACD$  は  $AD = CD$  の直角二等辺三角形だから,  $\angle DAE = (180^\circ - 90^\circ) \div 2 = 45^\circ$  よって,  
 $\angle DCG = 45^\circ$
- 問3 大小 2 つのさいころの目の出方は右の表の 36 通りで, そのうち, A で止まるのは 11 通り, B で止まるのは 7 通り, C で止まるのは 6 通り, D で止まるのは 6 通り, E で止まるのは 6 通りなので, 最も起こりやすいことはアの A で止まる場合で, その確率は  $\frac{11}{36}$
- |        |   |   |   |   |   |   |
|--------|---|---|---|---|---|---|
| 小<br>大 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 1      | B | C | D | E | A | B |
| 2      | C | E | B | D | A | C |
| 3      | D | B | E | C | A | D |
| 4      | E | D | C | B | A | E |
| 5      | A | A | A | A | A | A |
| 6      | B | C | D | E | A | B |
- 問4 (1) X プランでは 30 分までは通話料金が 0 円だから,  $0 \leq x \leq 30$  のとき  $y = 1200 + 0 = 1200$   
 $30 \leq x$  のとき, 1 分間あたりの通話料金が 40 円で, 通話料金がかかるのは  $(x-30)$  分間だから,  
 $y = 1200 + 40 \times (x-30) = 40x$  よって, 解答の図のような折れ線になる。

- (2) (1)で考えた X プランのグラフに重ねて、Y プラン、Z プランのグラフをかく。  
 Y プランでは 60 分までは通話料金が 0 円だから、  
 $0 \leq x \leq 60$  のとき  $y = 2000 + 0 = 2000$   
 $60 \leq x$  のとき、1 分間あたりの通話料金が 40 円で、通話料金がかるのは  $(x-60)$  分間だから、  
 $y = 2000 + 40 \times (x-60) = 40x - 400$   
 Z プランでは  $x$  の値によらず  $y = 2800$   
 この 3 つのグラフのうち、Y プランのグラフがいちばん下にあるのは 50 分から 80 分の間。



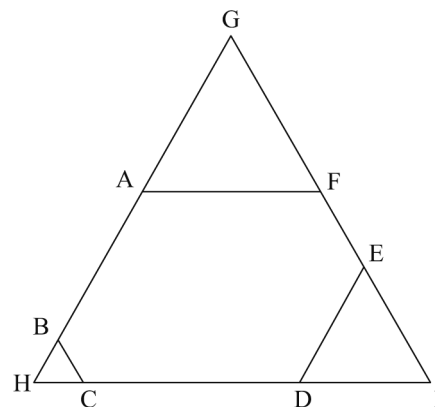
数-19-公-愛知(A)-KS-03

- 3 問1 点 O と点 C, 点 O と点 D をそれぞれ結ぶ。半径 5cm の円周の長さは  $2\pi \times 5 = 10\pi$  (cm) より、  
 $\angle COD = 360^\circ \times \frac{2\pi}{10\pi} = 72^\circ$

点 B と点 C を結ぶと、 $\widehat{CD}$  に対する中心角だから、 $\angle CBD = 72^\circ \times \frac{1}{2} + 36^\circ$

また、 $\angle ACB = 90^\circ$  だから、三角形の外角の性質より、 $\angle CEB = 90^\circ - 36^\circ = 54^\circ$

- 問2 (1) 六角形の外角の和は  $360^\circ$  で、六角形 ABCDEF は内角の大きさがすべて等しいから、外角の大きさもすべて等しく、 $360^\circ \div 6 = 60^\circ$  よって、右の図のように辺 AB, CD, EF をそれぞれ延長し、交点を G, H, I とすると、 $\triangle AFG$ ,  $\triangle BHC$ ,  $\triangle DIE$ ,  $\triangle GHI$  は正三角形となる。したがって、 $GI = 4 + 2 + 3 = 9$  (cm),  
 $CH = BH = 9 - 4 - 4 = 1$  (cm),  $CD = 9 - 3 - 1 = 5$  (cm)



- (2) 右の図の  $\triangle BHC$  について、 $\triangle BHC$  は正三角形であるから、 $\angle HBC$  の二等分線と辺 HC との交点を J とすると、 $HJ = \frac{1}{2}$  cm,  $\angle BJH = 90^\circ$  である。三平方の定理より、

$$BJ = \sqrt{1^2 - \left(\frac{1}{2}\right)^2} = \frac{\sqrt{3}}{2} \text{ (cm)} \quad \text{よって、} \triangle BHC = \frac{1}{2} \times 1 \times \frac{\sqrt{3}}{2} = \frac{\sqrt{3}}{4} \text{ (cm}^2\text{)}$$

$\triangle AFG$ ,  $\triangle DIE$ ,  $\triangle GHI$  はすべて正三角形であり、 $\triangle BHC$  と相似な図形で、 $AF = 4$  cm,  $DE = 3$  cm,  $GI = 9$  cm だから、面積比は  $\triangle BHC : \triangle AFG : \triangle DIE : \triangle GHI = 1^2 : 4^2 : 3^2 : 9^2 = 1 : 16 : 9 : 81$  となるので、六角形 ABCDEF の面積は、  
 $\frac{\sqrt{3}}{4} \times 81 - \frac{\sqrt{3}}{4} \times 16 - \frac{\sqrt{3}}{4} \times 9 - \frac{\sqrt{3}}{4} = (81 - 16 - 9 - 1) \times \frac{\sqrt{3}}{4}$   
 $= \frac{55\sqrt{3}}{4} \text{ (cm}^2\text{)}$

- 問3 (1) 点 O と点 D を結ぶ。円の接線は接点を通る半径と垂直だから、 $\angle OBA = \angle ODC = 90^\circ$   $\triangle ABC$  で三平方の定理より、 $BC = \sqrt{3^2 - 2^2} = \sqrt{5}$  (cm) よって、 $\triangle ABC = \frac{1}{2} \times \sqrt{5} \times 2 = \sqrt{5}$  (cm<sup>2</sup>)

点 O と点 A を結ぶ。円 O の半径を  $r$  cm とすると、 $\triangle OAB = \frac{1}{2} \times 2 \times r = r$  (cm<sup>2</sup>),  $\triangle OAC = \frac{1}{2} \times 3 \times r = \frac{3}{2}r$  (cm<sup>2</sup>)

$\triangle OAB + \triangle OAC = \triangle ABC$  より、 $r + \frac{3}{2}r = \sqrt{5}$   $r = \frac{2}{5}\sqrt{5}$  (cm) だから、円 O の面積は、

$$\pi \times \left(\frac{2}{5}\sqrt{5}\right)^2 = \frac{4}{5}\pi \text{ (cm}^2\text{)}$$

(2) 円外の点から 1 つの円に引いた 2 本の接線の長さは等しいので,  $AD=AB=2\text{cm}$ ,  $DC=3-2=1(\text{cm})$

(1) より,  $\triangle ABC=\sqrt{5}\text{cm}^2$  だから,  $\triangle DBC=\triangle ABC\times\frac{1}{3}=\frac{1}{3}\sqrt{5}(\text{cm}^2)$  点 D から辺 BC に引いた垂線と

辺 BC との交点を H とすると,  $\triangle DBC$  の面積について  $\frac{1}{2}\times\sqrt{5}\times DH=\frac{1}{3}\sqrt{5}$  が成り立つから,  $DH=\frac{2}{3}\text{cm}$

$\triangle DBC$  を辺 BC を回転の軸として 1 回転させてできる立体の体積は,

$$\frac{1}{3}\times\pi\times\left(\frac{2}{3}\right)^2\times BH+\frac{1}{3}\times\pi\times\left(\frac{2}{3}\right)^2\times CH=\frac{1}{3}\times\pi\times\frac{4}{9}\times BC=\frac{4}{27}\sqrt{5}\pi(\text{cm}^3)$$

円 O を辺 BC を回転の軸として 1 回転させてできる立体は半径 OB の球で, (1) より,  $OB=\frac{2}{5}\sqrt{5}\text{cm}$

だから, その体積は,  $\frac{4}{3}\pi\times\left(\frac{2}{5}\sqrt{5}\right)^3=\frac{32}{75}\sqrt{5}\pi(\text{cm}^3)$

よって,  $\frac{4}{27}\sqrt{5}\pi\div\frac{32}{75}\sqrt{5}\pi=\frac{4\sqrt{5}\pi}{27}\times\frac{75}{32\sqrt{5}\pi}=\frac{25}{72}(\text{倍})$